



ようちゅう  
幼虫

### 【オオヘビトンボ】

幼虫は「マゴタロウムシ」ともよばれ、子どもの「かんのむし」にきき目があるといわれています。

### 【クワガタムシの仲間】

昼は、土の中などでくらし、夜の間だけ樹液をもとめて行動します。おもにクヌギ林に多く見られます。樹液の取り合いなどで、少ししか栄養の取れないものは十分育たない場合があります。



### 【スズメバチの仲間の巣】

日本にいるハチの仲間のうちで体が一番大きく、山の岩場や家の軒先などに大きな巣を作り、100匹から、ときには数100匹になることがあります。怒ると人間をおそったりします。